

# 宇宙産業振興小委員会の 検討状況について

平成29年4月20日  
内閣府 宇宙開発戦略推進事務局

# 宇宙産業振興小委員会 開催スケジュール

- 第1回 日時 : 6月21日(火)  
議題 : 宇宙産業の現状と課題について
- 第2回 日時 : 7月28日(木)  
議題 : 宇宙産業の市場動向と宇宙産業(利用産業)の課題について
- 第3回 日時 : 8月25日(木)  
議題 : 宇宙産業(ロケット・衛星・地上機器・部品等)の課題について
- 第4回 日時 : 9月20日(火)  
議題 : 宇宙利用産業の課題と対応の方向性について
- 第5回 日時 : 10月19日(水)  
議題 : 宇宙機器産業の課題と対応の方向性について
- 第6回 日時 : 11月16日(水)  
議題 : 宇宙利用産業の課題と対応の方向性について  
(リモセンの活用について)
- 第7回 日時 : 11月25日(金)  
議題 : 宇宙二法の成立を踏まえた今後の宇宙産業振興のための環境整備について  
宇宙産業振興小委員会の議論を受けた当面の取組事項について

## 宇宙産業振興小委員会 開催スケジュール（続き）

第8回 日時：1月23日（月）  
議題：宇宙利用産業の振興について

第9回 日時：2月21日（火）  
議題：宇宙機器産業の振興について

第10回 日時：3月14日（火）  
議題：宇宙産業の振興に向けた横断的取組

第11回 日時：4月14日（金）  
議題：宇宙産業ビジョン

今回報告範囲

第12回 日時：5月12日（金）  
議題：宇宙産業ビジョン（取りまとめ）

# 第11回宇宙産業振興小委員会 ポイント

【開催日時】平成29年4月14日（金）13:00～15:00

【議題】宇宙産業ビジョン

【主だった議論/コメント】

## ■産業ビジョン

- 課題の整理は出来ているが、どこに向かっていくかというビジョンにもっとすべき。 具体的なものを積み上げると将来の絵姿はこうなるといったところを書いた方がよい。
- 昨今の世界の宇宙産業は、成長産業であるということもはっきり明記すべき。
- ビックデータの進展との結節点として、パラダイムシフトが起きていることをもう少し入れた方がよい。
- 世の中のスピード感が違ってきている。例えば2030年など将来を見据えてまず研究開発から始めるよりも、産業振興と研究開発を同時に進めるような時代になっている。
- データ利用分野を確立させなければならないが、そのためには、まずOrbital Insightをどう超えていくかなど、競合を分析することが重要。
- 官公庁などを巻き込んで裾野を広げる取り組みと、最先端の分野を開拓していく取り組みの両方を宇宙産業ビジョンに盛り込むべき。
- データ利用を促すのであれば、データ利用を行うコミュニティを作らなければならない。データプラットフォームを作るだけでは不十分で、まずはそのデータを使う意思のある人たちを意図的に集めなければならない。
- 海外展開について、プロジェクトマネージャーを配置するだけでは不十分。どのように根を張っていくかが重要。世界中から、宇宙に興味を持つ若手人材を集めて、教育プログラムなどを通して育てれば、将来、その人材が各国政府機関に戻ったときに、日本とつなぐ有望なネットワークとなる。将来を見据えた外交的な取り組みまでを視野に入れて考える必要がある。
- 宇宙産業ビジョンの中で、将来の産業規模等について示すべきとの意見があり、次回の小委までに議論することとした。